

第1学年 国語科

児童の実態（7月現在）

<p><実態の分析> 観点別結果の分析</p> <p>○[関心・意欲・態度] 文字を形よく書いたり、音読の練習に励んだり、自分の考えを発表したりして、積極的に学習に取り組む児童が多い。</p> <p>○[話す・聞く] 姿勢や口形、声の大きさや速さに気を付けて、はっきりと話そうとする児童が多い。みんなの前で話すことに抵抗を感じている児童もいる。</p> <p>○[書く] 楽しかったことや出来事を2,3文の簡単な文で表すことができる。教師と一緒に考えて文に表す児童もいる。</p> <p>○[読む] 語のまとまりや言葉の響きなどを楽しんで、音読ができる児童が多い。場面の様子や、登場人物の行動を想像しながら読み進める児童が多い。進んで読書をすることができる。</p> <p>○[言語事項]正しい筆順や、字の形に気を付けて書くことが難しい児童が数名いる。助詞を文の中で正しく使うことや、促音・拗音などの表記が不完全な児童がまだ多い。</p>

<指導方法の課題>	<具体的な授業改善策>	<補充・発展指導計画>
<p>[課題設定]</p> <p>1年生は集中できる時間が短いので、児童の興味・関心を引きつけられる課題、意欲をもたせる課題に設定していく工夫が必要である。</p>	<p>[指導]</p> <p>毎時間のねらいを具体化して明確にし、課題の達成感をもたせるようにする。</p>	<p>[補充的な学習指導]</p> <p>小テストや視写などを繰り返し、定着を図っていく。</p>
<p>[学習形態]</p> <p>一斉指導の中で、個人差をどのように埋めていくか、個別対応しつつ全体を見ていきたい。小グループでの活動を取り入れていく。</p>	<p>[学習形態の工夫]</p> <p>活動内容に合わせてペア、グループなど効果的な形態を取り、児童間での学び合いができるようにしていく。</p>	<p>[発展的な学習指導]</p> <p>児童の学習の状況に応じて繰り返し反復練習ができるプリントや発展的な学習シートを取り入れていく。</p>
<p>[発問・指示・板書計画]</p> <p>発問、指示は短い言葉で分かりやすく伝える。デジタル教科書を活用し、学習の視覚化を図る。</p>	<p>[発問・指示・板書の工夫]</p> <p>発問・指示は短く、一時に一事を伝えるようにする。</p>	
<p>[教材の活用]</p> <p>児童が興味をもって取り組めるように教材探しや開発が必要である。</p>	<p>[教材の工夫]</p> <p>計画的に準備をし、視覚的に、具体的に活用できるものをそろえていく。</p>	
<p>[評価の方法]</p> <p>座席表等を利用して個別の児童評価データを増やし、授業に活用する。</p>	<p>[評価の工夫]</p> <p>児童に学習内容が身に付いたかどうか常に確認し、次の授業に生かすようにする。</p>	

<評価・修正>

[評価] 文字を形よく書いたり、音読の練習に励んだり、自分の考えを発表したりして、積極的に学習に取り組むことができた。出来事を3・4文の簡単な文で書くことができるようになってきた。

[修正] ますを使って文を書く時のきまりや「はをへ」の使い方など、まだ十分でない児童もいる。個々の習熟度への個別的な対応をしっかりとしていく必要がある。

第1学年 算数科

児童の実態（7月現在）

<p><実態の分析> 観点別結果の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ○〔関心・意欲・態度〕ブロック操作や時計の操作など具体物を操作しながら、考えようとする。また、問題の出し合いなどでも友達と関わりながら意欲的に学習に取り組んでいる。 ○〔技能〕20までのたし算、ひき算が身に付いてきた ○〔思考・判断・表現〕文章問題になると立式が難しい児童がいる。場面を想像し、図や言葉で考え方を伝えたり、立式したりする力を伸ばしたい。たし算引き算の問題作りでは、自分で考えて取り組むことができる児童もいるが、そうでない児童も多々いる。
--

<指導方法の課題>	<具体的な授業改善策>	<補充・発展指導計画>
<p>[課題設定] 1年生の児童が興味関心を持続させる具体的な課題の工夫が必要である。</p>	<p>[指導] 各時間の目標・課題を明確にする。</p>	<p>[補充的な学習指導] ひと桁同士のたし算、被差数20までのひき算が全員に定着するように朝学習などに取り入れる。 必要に応じては、支援が必要な児童に休み時間、放課後などを使って個別指導を行う。 具体物の操作を十分にを行い、少しずつ使わずに計算できるようにさせていく。</p>
<p>[学習形態] 一斉指導を基本とし、個別支援が必要な児童には担任や講師、支援員等で対応する。今後も個々の習熟度への個別的な対応が必要である。</p>	<p>[学習形態の工夫] 一斉指導を基本とし、講師や支援員等と連携し個別指導にも力を入れていく。</p>	<p>[発展的な学習指導] 一斉指導で共通課題を早く終えた児童などに、発展的な学習課題を準備する。</p>
<p>[発問・指示・板書計画] 一問一答的な発問ばかりでなく、児童の多様な考えを引き出す問題も用意し発問を工夫する。さらに、考えを図に表現して考える等の力の基礎を計画的に培っていく必要がある。</p>	<p>[発問・指示・板書の工夫] 児童のノートにそのままつながる板書を行う。答えを求めることばかりでなく、思考過程が見えるように、板書の工夫をする。</p>	
<p>[教材の活用] たし算・ひき算の計算処理などは算数ブロックを使って数量的なとらえ方を理解させる必要がある。</p>	<p>[教材の工夫] 既製のものを上手に活用しながら場に応じて具体物等の用意をしていく。</p>	
<p>[評価の方法] 単元ごとのテストや授業中の発言やつぶやきを中心に評価する必要がある。</p>	<p>[評価の工夫] 児童の発言をその場で評価することで、児童に自信と意欲をもたせる評価を目指す。</p>	

<評価・修正>

[評価] 具体物を操作したり、友達と問題を出し合ったりしながら、意欲的に学習をしている。繰り上がりや繰り下がりのある計算も身に付けることができた。

[修正] 文章問題を解いたり、問題作りをしたりすることに苦手意識をもつ児童もいる。個々の習熟度への個別的な対応をしっかりとしていく必要がある。

第1学年 生活科

児童の実態（7月現在）

<p>＜実態の分析＞</p> <p>観点別結果の分析</p> <p>○[関心・意欲・態度] 好奇心が旺盛で、課題意識をもって、意欲的に学習をしている。</p> <p>○[思考・表現] 学校や友達のこと、自然や生き物、季節の変化について、気付いたことや思ったことを積極的に見付けて発言したり、カードに記したりしている。</p> <p>○[気付き] 学校でお世話になっている人たちや2年生との関わりを通して、学校生活のリズムや、社会的な関わりを少しずつ広げてきている。学校にある植物の観察や、朝顔を育てることにより、成長の変化に気付いている。</p>

＜指導方法の課題＞	＜具体的な授業改善策＞	＜補充・発展指導計画＞
<p>[課題設定]</p> <p>具体的な活動や経験を通して、児童一人一人が楽しみ、主体的に学習できる課題を設定する。</p>	<p>[指導]</p> <p>児童の願いやアイデアから学習過程をつくれるようにする。</p> <p>関わり合いを通して気付きが生まれるようにする。</p>	<p>[補充的な学習指導]</p> <p>社会・自然体験については、校内や周辺地域で実践可能なものを多く取り入れる。</p> <p>また、地域の方々との関わり合うように工夫する。</p>
<p>[学習形態]</p> <p>活動内容に合わせて、個・ペア・小グループ・全体等、形態を工夫する。</p>	<p>[学習形態の工夫]</p> <p>活動内容に合わせた学習形態を工夫する。</p> <p>他学年、他学級とも交流する機会を多く設ける。</p>	
<p>[発問・指示・板書計画]</p> <p>簡潔で短い発問・指示を出し、視覚的にも活動が見通せるようにする。</p>	<p>[発問・指示・板書の工夫]</p> <p>児童の気付きの質を高められるような助言を心がける。</p> <p>活動の流れを示すようにする。</p>	<p>[発展的な学習指導]</p> <p>自分の思いに気付いている児童に対しては、客観的事実や自分以外の人の思いなど、より質の高い気付きができるよう、児童の思考を促せるような助言をする。</p>
<p>[教材の活用]</p> <p>活動内容に合わせた場の工夫をする。教室に限らず、校庭や体育館、けやきの森など活動の幅を広げる。</p> <p>児童が興味関心をもてるような学習資料を提示する。</p>	<p>[教材の工夫]</p> <p>児童の実態を的確にとらえ、児童の願いに応じた環境・資料を提示する。</p> <p>体験的な学習ができるような場の設定をする。</p>	
<p>[評価の方法]</p> <p>学習カード・行動観察から評価をする。</p> <p>気付きを見取ることができるような学習カードを活用する。</p>	<p>[評価の工夫]</p> <p>一時間の重点評価項目を定め、学習カード・行動観察から見取り、次の学習に生かせるようにする。</p>	

<p>＜評価・修正＞</p> <p>[評価] 課題意識をもって、意欲的に学習をすることができた。学校や友達のこと、自然や生き物、季節の変化について、気付いたことや思ったことを積極的に見付けて発言したり、カードに記したりすることができるようになった。</p> <p>[修正] 気付きの質を高めるために、子供同士が対話をする場面を意図的にもうけ、教師の発問を工夫していく必要がある。</p>

第1学年 体育科

児童の実態（7月現在）

<p><実態の分析></p> <p>観点別結果の分析</p> <p>○〔関心・意欲・態度〕ボール遊びや鬼遊び、水遊びなどに意欲的に取り組み、友達と仲良く、安全に運動することができる。</p> <p>○〔技能〕鬼をよけて走ったり、追いかけたりする動きが高まった。水遊びを通して、水の中での動きに親しんだり、顔を水につけたりすることができるようになってきた。</p> <p>○〔思考・判断・表現〕より楽しい遊び方に気付いたり、友達のよい動きをまねしたりする様子が見られ始めた。</p>
--

<指導方法の課題>	<具体的な授業改善策>	<補充・発展指導計画>
<p>[課題設定]</p> <p>児童の実態に合わせて、楽しみながら解決できる課題を設定する必要がある。</p>	<p>[指導]</p> <p>一つ一つの活動を意味付け、児童が主体的に学習できるようにする。</p>	<p>[補充的な学習指導]</p> <p>運動の楽しさを十分に味わえていない児童には、個別に声かけ・補助を行う。遊びを通して、楽しんで運動することができるように活動を工夫する。</p>
<p>[学習形態]</p> <p>内容によって、ペア・トリオ・グループ・全体など形態を変える。また、集団の中で課題に取り組む場面を増やし、お互いに学び合い高め合える場を増やす。</p>	<p>[学習形態の工夫]</p> <p>運動の特性に適した学習形態を適用する。友達と一緒に運動する際に自分の役割を果たせるよう、学び合いの仕方について丁寧に指導する。</p>	<p>[発展的な学習指導]</p> <p>課題を十分に克服できている児童に対しては、記録に挑戦したり、よりよい動きを目指したりするなど、運動の仕方を工夫したりするなど、より主体的に運動に取り組めるように支援する。</p>
<p>[指示・支援]</p> <p>簡潔で短い指示を出し、児童の運動量を確保する。活動の仕方を明確に示し、見通しをもって運動に取り組めるようにする。</p>	<p>[指示・支援]</p> <p>安全における指示については、明確に行い、必要に応じて繰り返し声をかける。</p>	<p>[発展的な学習指導]</p> <p>課題を十分に克服できている児童に対しては、記録に挑戦したり、よりよい動きを目指したりするなど、運動の仕方を工夫したりするなど、より主体的に運動に取り組めるように支援する。</p>
<p>[場の工夫・学習資料]</p> <p>安全に留意して、運動に対する動機付けや児童の課題解決につながるような場を精選する。学習カードに取り組んだことや考えたことを記録できるように、指導していく。</p>	<p>[場の工夫・学習資料]</p> <p>掲示物を活用するなどして、どのような場を用意するのか、児童が明確に理解できるようにする。よい振り返りのできている児童を称賛し、振り返りの大切さを実感させる。</p>	<p>[発展的な学習指導]</p> <p>課題を十分に克服できている児童に対しては、記録に挑戦したり、よりよい動きを目指したりするなど、運動の仕方を工夫したりするなど、より主体的に運動に取り組めるように支援する。</p>
<p>[評価の方法]</p> <p>学習カード・行動観察から評価をする。</p>	<p>[評価の工夫]</p> <p>1時間の重点評価項目を定め、学習カード・行動観察から見取り、次の学習に生かす。</p>	

<p><評価・修正></p> <p>[評価]</p> <p>体育学習時の決まりや集団行動などは、身に付いた。一定の運動量を確保することで、運動を楽しもうとする態度が身に付くとともに、技能や思考・判断の向上も見られた。</p> <p>[修正]</p> <p>日常の運動する姿に差が見られるようになってきた。体育の学習を日常の運動へとつなげていく必要がある。</p>
